

【園に対する意見・要望】

園全体について

- ・家ではできない経験、発達に合った保育活動に感謝している。友だちの中でいろいろ学び共に成長していく姿が嬉しい。
- ・毎日楽しそうに登園できてい大好きな先生方や友だちと過ごせるのが嬉しいのだなと安心している。
- ・子どもたちのやりたい事、意見、気持ちを尊重しながら子どもの成長につなげていく保育はとても参考になる。
- ・いつもお世話になり感謝しかありません。
- ・さくらんぼでしか経験できないこともたくさんあり、ありがたい。
- ・毎日工夫した遊びを考えてくれていて子どもも保育園が大好きです。いつも懇談会での話を聞くと一人一人に寄り添ってくれている様子がわかり、先生方は大変だと思う一方、とてもありがたいと感じている。
- ・集団生活とはいえその子に合ったリズムや対応をしていただけるのでとてもありがたい。
- ・休みの日でも「保育園に行く」と言い、毎日楽しく過ごさせてもらっていることがわかり安心して預けられる。
- ・朝なかなかバイバイができずに先生に抱っこしてもらいお別れをするが、夕方お迎えに行くとニコニコ笑顔で迎えてくれる。園で充実した生活ができているんだなと思い嬉しくなる。
- ・いつも充実した毎日を送っている子どもの様子を見てみると、先生方が深く関わってくれていることを感じる。遊びも給食もいろいろと工夫していて本当に感謝している。これからも安心、安全な保育園生活が遅れるよう、保護者も協力し合い、より良い毎日を送ってもらいたい。
- ・さくらんぼ保育園だからいつも安心して預けて仕事に行くことができる。
- ・上の子に続き、下の子も毎日安心してお願いしている。
- ・いつまでも変わらない保育園であってほしい。
- ・とても素晴らしい方針、保育目標で、これからもさくらんぼ保育園らしい園づくりをしていってほしい。

(改善・検討してほしいこと)

- ・感染症の流行する時期の対策をもう少し考えていただきたいです。
- ・集団行動をする上で風邪は引くが衛生面での汚れが気になる。自宅でもアルコール除菌を行うが、床などもう少しきれいにしてもらえると嬉しい。
- ・もう少し掃除をしていただけると良い。

掃除や消毒には次亜塩素酸水や次亜塩素酸ナトリウム液を使用していますが、環境衛生には一人一人が日々広い視野を持ち丁寧に責任を持って行っていきます。また、感染症流行時には掃除や消毒をよりこまめに行うようにしています。状況に応じて園児の手拭きタオル使用をせずペーパータオルを使うようにしてきましたが、今後は感染症流行時に限らず年間通してペーパータオルの使用にしていきたいと考えています。集団感染予防については各ご家庭においても早めの受診や療養に努めていただく等のご理解ご協力を引き続きよろしくお願い致します。

朝、子どもが保育園のトイレは寒くて嫌だとトイレに行ってくれない。子ども用のスリッパがあるともう少しスムーズに行ってくれると思う。

乳児・未満児クラスでは、転倒による事故やトラブル等の防止のため子ども用のトイレスリッパは使用していません。確かに寒い時期はトイレに行きたがらなくなりますよね。朝の支度時にどうしても嫌がる時は少し間をおいてから保育者が声をかけトイレに誘うようにしていきますので、その旨お伝えください。

- ・送迎時、駐車場の真ん中の列に大きい車を置かれると車を出せなくなることがあるので、大きい車は真ん中の列の駐車は遠慮してほしい。
- ・駐車場の枠を見やすくしてほしい。白線だと一時的で消えてしまうので、ロープか何かでやってくれとありがたい。

駐車場の枠については、地面が硬いためなかなか整備が行き届かずご不便をおかけしております。専門業者にロープを打ち込んでもらうよう依頼しており、3/20に工事予定です。

- ・各種おたよりの配布をもう少し早くしてほしい。週末に配布されていても他児のものと混同されたことがあり週明けの献立がわからず主食の準備に困ったことがあった。学校はかなり早めに通知が来ている。
- ・毎年、説明会は土曜の午後だったと思うが今年は午前中ということで勤務を調整するのが難しい。早めに通知してほしい。
- ・ひなまつり会の保護者の出し物の練習が夜できないということを事前に知らせるべきと思った。親も一生懸命です。予定を組む前に知っておきたいことだと思った。

お知らせが遅くなってしまったことがあり、申し訳ありません。
配布物については、週末は持ち帰る荷物も多く、また、翌日が休みだと持ち物の確認もできず困ることもあったかと思います。今後はできるだけ金曜日は避けるようにしていきます。
また、今までと異なるようなことについては、誤解のないよう、より丁寧にお知らせしていきます。

「連絡帳にかえて」の日数が多くなっているので、連絡帳の様式を見直し一年間一冊で済むようにしてほしい。成長の記録が一冊で見れないので不便。

連絡帳については以前より書式内容の見直しを検討しており、来年度からは年間一冊で済む形式の物に替えていきます。

布オムツについて、小さい子は風邪で休むことも多く登園日数が少ないのに月の定額を払うのは負担が大きい。日額にする方が納得できる。

1才半までのオムツ代（定額）については、一ヶ月のうち半分以上欠席した場合は月額も半分にさせていただきます。また、使用量を見越してまとめて発注しているため、日額にはできません。申し訳ありませんがどうかご理解ください。

- ・日程調整や例年と違った対応となる場合は一度保護者会へ相談したり検討をしてくれているのか疑問に思う時もある。お知らせに「保護者会と相談した上で、～した」と記入があると、より連携が取れていると思える。
- ・今年度クラス役員をおこない、保護者会に対してやクラス懇談会の役員決めなど役員に丸投げすぎると思った。他の公立保育園ではクラス役員の負担はここまで大きくなく、先生たちがもっと関わって助けてくれるとのこと。

園行事や運営に関わることは、保護者会を含む運営協議会や、第三者委員会に諮りながら検討し進めていますので、今後はそのような内容も含めてきちんと報告していきます。

保護者会におかれましては、いつも園への様々な協力をいただきましてありがとうございます。

ほとんどの方が役員経験初めてであっても、毎年、保護者会役員さんを中心に趣向を凝らした保護者会活動が進められていると感じています。園により会則も様々なので、他園とは運営の仕方に違いがあるかもしれませんが、これからも園としてできる限りの協力はしていきますので、園と保護者会の両輪で子どもたちのより良い育ちを支えていきましょう。

・クラス懇談会が年2回に減ってしまい残念。保護者意見によって負担を考えて減らして下さったのかとは思のだが、懇談会で他のおうちの様子や先生の話聞けるのはとても重要な機会だと思っていたので、年3回のままで実施していただきたい。今回都合で行けなくなり全然交流できなくなってしまった。元々強制ではない会なので、来れる方で無理なく3回設定の中で交流できるのを望む。

・クラス懇談会について、小グループに分かれて意見交流をした方がざっくばらんに話ができて時間を有効に使えると思う。

クラス懇談会を楽しみにして下さりありがとうございます。私たちもクラス懇談会は大事な機会と捉えており、できるだけ全家庭参加のもと開催したいと考えています。しかし、年度初め・中頃・年度末の開催のうち、中頃におこなう懇談会は都合をつけることが難しい家庭も多いことや、回数や時間についてのご意見をいただく中で懇談会の持ち方を検討し、今年度から年2回の開催と全クラス1時間半という設定にさせていただきました。内容もその時々で検討し、保育を伝えたり意見交流をしたりするほか、学習会を企画することもあります。

入園時健診での血液検査は本当に必要か？小さい子の採血は難しいし、リスクも考えるとそこまでして必要なものだろうかと思う。他の保育園で入園時の血液検査をしているところは聞いたことがない。

〔 入園に際して必要な健診内容について、嘱託医と相談していきます。 〕

- ・先生方の体制等もあると思うが、運動会など簡素化されてきてしまっていて今後もされそうでさみしいと思う部分がある。
- ・ひなまつり会で未就園の下の子を預かってもらう先がなかったので一緒に連れて行ったら帰された。小中学生も不可ということはそれらの子どもの預け先がない場合は両親のどちらかが欠席するしかないのか。会場が狭いという理由だとしたら祖父母の方に遠慮してもらうわけにはいかないのか。両親が行けずに祖父母が行く家庭もあることを考え、各家庭大人二人までにするとか、ひまわり組のみ両親+祖父母でも可とするとかできないか。

今年度の運動会は特例と言わざるを得ない、やむを得ない状況での変更でした。

園行事や保育活動の内容や取り組み方については、毎年子どもの姿をもとに保育のねらいや手立てを考えるので、昨年と違うということもあります。しかしそれは保育方針や保育目標を変えるということではありません。子どもたちに育てたい力、育てほしい子どもの姿を毎年園全体で話し合い、確認し合いながら一つ一つの活動や行事に取り組んでいます。

ひなまつり会は、子どもたちが一年の成長を表現する大切な行事です。大勢が見守る中で舞台に立つ子どもたちがいつもと変わらない姿で発表に臨めるよう、温かく落ち着いた雰囲気の中で開催できることを大事にしたいと考えています。そのため、園児外の参加をご遠慮いただいています。

保育者の関わりについて

- ・先生方が子どもたちの様子をよく見て向き合ってくださっていることがとても伝わってきて本当にありがたい。
- ・毎日子どもを熱心にみてくださり感謝している。子どもも保育園が楽しくて、よい先生、お友達に恵まれ日々成長できている。
- ・いつも子どもの気持ちに寄り添い保育していただき感謝している。
- ・子どもの嬉しいや楽しいだけでなく、不安や葛藤する気持ちも受け止めてもらっていてありがたいと思っている。
- ・いつも温かく見守ってくださりありがとうございます。
- ・いつも大切に育ててくださりありがとうございます。
- ・お迎えに行った際、先生方とお話するのがとても楽しみ。いろいろ聞いていただけるのでとてもありがたい。
- ・子どもの悩みを先生方が相談に乗ってくれて、心が救われている。
- ・いつも相談させていただいて気持ちが楽になっている。ありがとうございます。大変なお仕事ですが頑張ってください。
- ・毎日先生方には子どもにも親にもよく寄り添っていただき、保育してくださってありがたい。
- ・送迎時などにいつも子どもの様子やかわいい出来事など話してくださり、園で楽しく過ごしているということがわかるのでとても安心して預けることができている。
- ・日中あった出来事を毎日のように先生がお話ししてくれるのでありがたい。
- ・子どもを迎えに行くときの先生も「おかえりなさい」と明るく声をかけてくださり、親も先生方に元気をいただいている。
- ・一日の様子を写真などで分かりやすく伝えていただいているので帰りに担任の先生に会えなくても「こんな風に過ごしたんだね」と子どもと話せる。
- ・個の性格など受け止めてくれ苦手なことも出来る喜びに変えてくださっているなど感じ、ありがたい。
- ・一人一人の子どもの特徴を捉えてくれて良いところをもつごく大事にして伸ばしてくれようとしているのを日々感じる。悩みは悩みで真剣に一緒に考えてくれるので親も子どもとても支えてもらっている。
- ・子どものことを一番に考え、子どもの思いに寄り添って保育をしていただきありがとうございます。
- ・見通しが持てるように道筋を立てて誘導していただいたり、クラスの友だちと交流できるよう配慮していただき、子どもを安心して預けることができる。朝も早く、夜も遅くまでみていただき、担任の先生をはじめ担任以外の先生方もたくさん声をかけていただき感謝しかありません。
- ・子どもは担任の先生が大好きで、最近「大きくなったら〇〇先生みたいに優しい先生になりたい」と言っていた。いつも子どもの気持ちを受け止めてもらってありがとうございます。
- ・担任ではない先生方も子どもの名前をしっかり覚えてくれ、呼んでくれるので安心して預けられる。
- ・クラス担任だけでなく他のクラスの先生にも声をかけてもらっているのを見ると、園全体で保育してもらっているを感じる。

(改善・検討してほしいこと)

- ・少ない保育士の中、大勢の子どもたちに目配りするのは大変だと思うが怪我が多い印象を受けたり、お迎えの時に先生が少ないかなと思ったりもする。少し目を離すときなど気にかけていただけたらと思う。
- ・先生がいない部屋で子どもだけで走り回っていることをよく見かけ、安全が心配になった。
- ・朝のクラス別になるまでの全体保育の時間は大きい子が走り回ったりと小さい子には危険だなと思う毎日です。

実際に保育をしている私たちでさえも、これは十分な保育者数ではないと感じています。しかしながら今の保育制度では、この保育者数で十分足りているとみなされています。そのため、朝夕の混合保育時間は特に安全に気をつけながら過ごすようにしていますが、ヒヤッとする場面を見かけたならその都度すぐに職員に知らせていただくと同時に、子どもへも遠慮なく安全への声掛けや注意をしていただきたいです。子どもたちの安全を周りの大人たちみんなで見守っていきましょう。また、私たちはよりよい保育を求めて請願署名や議員要請等の保育運動に取り組んでおり、その中には、職員配置基準をもっと良くしてほしいということも訴えています。保護者の皆様にもぜひ引き続きご協力をよろしくお願い致します。

- ・子ども同士お互い様ではあるが噛まれてくることが多い。噛むことが多い子とそうでない子との関わりをもう少しどうにかできればなど感じる。
- ・友だちとのトラブルを報告してくれた時、相手の親御さんに謝罪してほしいと言われた。我が子も同じ友だちから何度も噛まれたりかじられたりしたが、一度も謝罪されたことはない。対応の違いに不信感を持った。

園で起こったことは園の責任ですので、保護者の方に謝罪をさせるようなことはありません。職員の対応に誤りがあり不信感を持たせてしまったことは本当に申し訳ありませんでした。全職員で再確認し、しっかり一致させていきます。

子どもの噛みつきには理由があります。できるだけ噛みつきやひっかき等での表現になる前に、その子の思いを汲み取りながら仲立ちし、思いを伝える・伝わり合う心地よさを味わえるようにしたいと思っています。噛まれてしまった子には本当に申し訳ない気持ちになりますが、噛んでしまった子もまた同じです。私たちはその行為の裏側にある思いを探りながら、寄り添いながら、どの子も気持ち良く自分の思いを表現し、安心して仲間の中で育っていけるよう丁寧に関わっていきます。

- ・クラス移行の初日の朝、担任が誰もいなかったのでどのようにして良いかわからず困ってしまいました。
- ・子どもの気持ちをしっかり聞いたり受け止めたりするのではなく、先生が上から目線で子どもに接している姿が多くとても悲しくなった。家での姿、相談などできず、相談に乗ってくれる姿勢ではなかったので話をすることができなかった。送迎時も毎日の園の姿をほとんど話してくれなかった。
- ・先生によっては子どもが自分の気持ちを表現する前に怒られていて子どもが言えないこともある。

不安な思いや、嫌な思いをさせてしまったことは大変申し訳ありませんでした。聴く姿勢や声かけ、関わり等、再度職員一人一人が振り返り気をつけるとともに、園全体でも保育者としてあるべき姿勢を再確認していきます。